

1. 件名：「再処理施設等の地震等に係る新規規制基準適合性審査（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事業者ヒアリング（1）」

2. 日時：令和4年1月24日（月）13時30分～15時00分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門：

岩田安全管理調査官、三井上席安全審査官、佐藤主任安全審査官、
中村主任安全審査官、大井安全審査専門職、松末技術参与

同 技術基盤グループ 地震・津波研究部門：

呉 地震・津波政策研究官※

日本原燃（株） 技術本部：

大柿一史 常務 技術本部長、船越淳久 理事 技術副部長、他12名※

同 東京支社： 技術部 建設管理グループ 主任※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・【資料1】再処理施設、廃棄物管理施設、MOX燃料加工施設 標準応答スペクトルを考慮した評価について

・【資料2】再処理施設、廃棄物管理施設、MOX燃料加工施設 許可後の新知見の反映について

・【資料3】補足説明資料_再処理事業変更許可申請書_添付書類四「地震」抜粋

・【参考1-1】再処理事業変更許可申請書 本文「0. 再処理施設の一般構

造」前後対比表

- ・【参考 1 - 2】廃棄物管理事業変更許可申請書 本文「ロ. 再処理施設の一般構造」前後対比表
- ・【参考 1 - 3】MOX 燃料加工施設事業変更許可申請書 本文「ロ. 再処理施設の一般構造」前後対比表

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	メインのやつを二つ用意していただいているので、まずは標準応答スペクトルの方からですね説明をしていただければと思いますがよろしいですか。
0:00:09	はい。
0:00:10	よろしいですか。
0:00:13	はい。それでは、日本原燃の船越でございます。
0:00:16	本日は、1月、去る1月12日に変更さ、申請させていただきました標準応答スペクトル並びに、野辺地図等の新知見について、
0:00:28	本日、各担当から、弊社の六ヶ所の各担当から説明させていただきますので、どうかよろしくお願いいたします。
0:00:37	ではまず標準応答スペクトルについて。
0:00:45	はい。日本原燃の工藤でございます。それでは私の方から標準応答スペクトルを考慮した評価について、資料1に基づきましてご説明させていただきます。
0:00:56	まず資料。
0:00:59	の2ページ目次でございますけども、
0:01:04	回答してまず評価の概要、地下構造モデルの設定、そして地震基盤面における模擬地震化の作成というのが3ポツでございます、
0:01:13	4ポツで解放基盤に引き上げた結果、そして、5ポツで基準地震動の策定、6ポツで、基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価についてという流れになっております。
0:01:24	それでは中身の方入らせていただきます。
0:01:27	めくっていただきまして資料の3ページ4ページにつきましては規則解釈の別記2の内容について、
0:01:36	おさらいということで抜粋載せているだけでございますので本日は、違う説明の方割愛させていただきます。
0:01:44	続いて資料の5ページをお願いします。こちら現行の基準地震動の一覧。
0:01:48	としており、のさらいのページでございます、
0:01:54	既許可の時には精製からSSC案まで10%。
0:01:57	基準地震動として策定したものに加えて今回、全国共通に考慮すべき指針ルームラベル6.5程度未満のものについて標準応答スペクトルを考慮した地震動というものをつい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:08	追加し検討いたしますっていうのに行く。
0:02:11	以降説明させていただきます。
0:02:14	標準応答スペクトルを考慮した地震動の評価方法のフローを6ページに示しております。
0:02:21	こちらのフローに基づきまして、
0:02:25	まず、地下構造モデル深部地盤モデルを設定し、そのあと地震基盤面における模擬地震版の作成、解放基盤表面におけるも地震動の差。
0:02:36	地震動の設定で基準地震動の策定というふうな流れで評価を進めて参ります。
0:02:43	資料7ページをお願いします。
0:02:46	資料7ページこちらは、地震動評価に用いる地下構造モデルですが、標準応答スペクトルを考慮した地震動評価に用いる地下構造モデルは、土岐久賀の時に、統計的グリーン関数法による地震動評価に用いるため、
0:03:00	として設定しておりました深部地盤モデル午前、こちらが、
0:03:04	敷地G除く特性を適切に反映できるモデルとして、
0:03:09	上にございますのでこちら、
0:03:12	に基づいて地震基盤、
0:03:14	面に標準応答スペクトルに基づいて、
0:03:17	評価した地震動を入力して解放基盤まで引き上げた上で基準地震動の評価を行うということにしております。
0:03:25	続きまして茂木自身はの作成についてでございますが、資料8ページをお願いします。
0:03:33	審査が移動。
0:03:35	の中では表設定された応答スペクトルに基づいて、模擬地震動、
0:03:39	作成する場合には複数の方法により検討が行われることを確認するとされていることを踏まえまして、まず一つ目の方法として制限版の重ね合わせによる方法、そして、
0:03:50	その他のも、この方法を用いた検討として観測記録の位相を用いる方法について、
0:03:56	こちらの二つのやり方について、やり方で模擬地震はーを作成いたしまして、作成した模擬地震はの諸特性の分析、
0:04:05	地震基盤面における模擬地震版の選定というふうにフローを進めていきます。
0:04:11	そしてまず、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:13	原案の重ね合わせによる模擬地震版の作成でございますがこちら資料9ページをお願いします。
0:04:20	富井自身はは、
0:04:23	一様乱数の位相を持つ制限はの重ね合わせによって作成することといたしまして、
0:04:29	振幅包絡線の形状変化はどだい達 2002 に基づき、マグニチュードM。
0:04:34	は、
0:04:35	全国共通に考慮すべき地震動の。
0:04:38	モーメントマグニチュード 6.5 程度未満とされていることを踏まえ、
0:04:42	モーメントマグニチュード 6.5 相当のもの、マグニチュード 6.9 としまして、等価震源距離 X_{eq} は 10 キロメートルと設定しております。
0:04:54	続きまして模擬地震版の作成結果でございますが資料 10 ページをお願いします。
0:05:04	こちらで水平方向の作成結果についてお示ししておりますが、
0:05:08	応答スペクトル比、S I 比ともに、
0:05:13	チャームの基準を満たしているものイシューを作成することができており、いるということを確認しております。
0:05:21	資料 11 ページをお願いします。こちら茂木自身はの策定結果の鉛直方向について同様にお示ししたものでございますが、こちらも、
0:05:30	チャームの基準を満たすもの自身は、は作成できているということを確認しております。
0:05:38	制限版の重ね合わせによる模擬地震版の策定については以上でございます、国庫からは、
0:05:46	観測記録の位相に基づく、
0:05:50	地震動、地震版の作成の方法についてご説明させていただきます。
0:05:56	沼津敷地における観測記録の整理、
0:06:00	でございますが、敷地の代表地番観測点の、
0:06:04	阿呆基盤表面相当位置。
0:06:06	で、最大サトウ分で 10G a l 以上の地震観測記録が獲られている地震をこちらでリストアップして示しております。
0:06:14	このうち、
0:06:16	震源特定せず策定する地震動の、
0:06:19	対象として適切である。内陸地殻内地震については、1996 年 2 月 17 日の青森県サンパチ上北地方、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:29	地震一つのみでございますので、これを標準応答スペクトルに適合する。
0:06:35	自身は作成に用いる実観測記録遺贈の対象として選定いたしました。
0:06:41	この、
0:06:43	1996年、
0:06:45	2月11日、青森県サンパチ。
0:06:47	上北地方の地震の観測記録、13ページに示しております。
0:06:55	敷地のGL-200メートル地点の地震計で間、観測された記録、とその古井スペクトルがこちらになります。
0:07:03	水平方向で10Gal程度の地震動がとれております。
0:07:08	で、
0:07:10	この観測記録の位相に基づいて、模擬地震は作成した結果が14ページに示されているんですが、
0:07:17	ここで1点すみませんが修正ございます。14ページに示している。
0:07:23	作成した茂木はNS方向の波についてなんですが、資料に掲載のものは最大加速度588Galとなっております。
0:07:32	こちら、フィッティングの方法の都合上、必ずしも目標スペクトルの最大加速度600Galと一致しないものですので、ピックアップ目標スペクトルの最大加速度に合うように補正をかけているのですが、
0:07:45	本資料ではNS方向については600Galに補正していない波に基づき検討結果を示しております。
0:07:52	600Galに補正した波でも検討はすでに行っておりまして、結果はほぼ同じであるということを確認しておりますので、本日はこの資料に沿って検討内容についてご説明させていただきまして、
0:08:05	次回のヒアリング、会合では補正後の結果についてお示しさせていただきます。
0:08:11	資料戻りまして14ページですけども、須藤船津報告EW方向UD高校3方向ともに、ちなみに基準応答スペクトル比採否の基準を満たすものが、
0:08:23	作成できております。
0:08:28	以上で檀須田水槽に基づく専任はの重ね合わせに基づく方法と、速記録の移送を、
0:08:36	用いた方法の2。
0:08:38	二つの方法に基づいて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:42	茂木自身は作成したのですが、それらの一括を 15 ページ示しております。
0:08:48	同じ。
0:08:50	地元スペクトルに適合してるよう作っておりますので号とスペクトル上大きな差は見られない波になっております。
0:08:57	従いまして、冒頭スペクトル以外の以下に示す。
0:09:02	矢口地震入力エネルギースペクトル、弾塑性応答スペクトルのこの三つの指標を用いまして、構造物への影響といった観点から比較検討を実施いたしました。
0:09:13	16 ページをお願いします。
0:09:19	こちらキャプチャーの説明のページでございますが、
0:09:26	矢口は、A 国の電力中央研究所が揺れの強さの、
0:09:31	指標を測っ測る指標の一つとして、設備損傷、
0:09:35	ほとんど
0:09:37	設備の損傷にはほとんど影響しないと考えられる。
0:09:41	パルス的な加速度振幅による不要な原子炉の停止を回避するために開発した指標でございまして、
0:09:51	矢口標準ばかり北口自体は、時刻、加速度時刻歴の時刻今年刻々と下変化を 1 秒区間ごとに確認していき、
0:10:01	その管内の最大値がある閾値を超えている場合に、その客値の、
0:10:06	累積を、
0:10:08	どんどん他社
0:10:09	重ねていくっていったものになります。
0:10:13	で、本検討ではこの閾値を 300 G a l として、
0:10:17	両方の波について小牧矢口がどのくらいの大きさになるのかっていうのを、
0:10:22	分析いたしました。
0:10:24	この結果は 17、7 ページに示しております。
0:10:32	こちらを見ますと、制限はの重ね合わせによる方法では水平方向で 1.37。
0:10:38	D を、
0:10:39	UD 方向の 0.27 事業であるのに対して、観測記録の位相を用いる方法では、NS 方向が 0.60、EW 方向が 0.61、UD 方向は 0.16 時。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:51	いうものとなっております、制限はの重ね合わせによる方法が、観測記録の位相を用いる方法よりも大きいということを確認しております。
0:11:02	続きまして、18 ページをお願いします。
0:11:08	18 ページこちら、地震入力エネルギースペクトルと、
0:11:13	についてのご説明ですけれども、地震入力エネルギースペクトルというのは、
0:11:18	地震動の全継続時間において構造物に入力される総エネルギー量、
0:11:24	こちらを等価速度 v に換算して、構造物の固有周期との関係を表現しているものということになります。
0:11:35	あの、
0:11:36	比木入力エネルギースペクトルを計算した結果 19 ページに示しております。
0:11:43	1 地震入力エネルギースペクトルはこちらのグラフに示します通り、短周期が概ね 1 秒程度以下ですけれどもこちらにおきまして、
0:11:52	制限はの重ね合わせによる方法が、観測記録の位相を用いる方法よりも概ね大きくなるという結果になっております。
0:12:02	続きまして 20 ページをお願いします。
0:12:06	こちら弾塑性応答スペクトルに、
0:12:09	についての説明でございますが、断層線の位置し、連携モデルを用いまして、塑性率による所定の値、今回の検討では三浦 1 から 4 になるように、降伏せん断力 9 倍を算出しまして、
0:12:22	その算出した 9 倍を重量 W で除した降伏せん断力係数。
0:12:28	を算出します。
0:12:30	で、これを周期ごとに繰り返しまして周期と往復せん断力係数 C の関係を示したものが弾塑性応答スペクトルということになります。
0:12:40	21 ページをお願いします。こちらに算出した出す弾塑性労働スペクトルを示しておりますが、
0:12:49	塑性率が、
0:12:50	大きくなるにつれて、短周期側において、制限は重ね合わせにおけるほうせ、重ね合わせによる方法が、
0:12:57	観測記録の位相を用いる歩方法よりも大きくなる傾向があるということが見て取れます。
0:13:06	これまでの検討の一端のまとめを 22 ページに示しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:10	21 ページまでの着地地震入力エネルギースペクトル、弾塑性応答スペクトルの検討によりますと、
0:13:19	観測記録の位相を用いる方法に基づきした基づき作成した線模擬地震に比べて、
0:13:26	制限版の重ね合わせによる方法、こちらに基づいて作成した模擬地震はの優位性が確認できます。
0:13:33	したがいまして以上を踏まえて、標準応答スペクトルを考慮した地震動としては、
0:13:38	低減版の重ね合わせによる方法を採用することとしました。
0:13:43	資料 23 ページをお願いします。
0:13:48	地震基盤におけるもの自身はありません。
0:13:52	選定しましたがこちらに対して、
0:13:54	地震、1 次元波動論によって、深部地盤モデルを用いて、
0:13:58	解放基盤表面までの地震は伝播特性、伝播特性を反映し、解放基盤表面における標準応答スペクトルを考慮した地震動を設定します。
0:14:09	解放基盤に引き上げた結果 24 ページに示しております。
0:14:17	千葉清方向と鉛直方向に方向図を示しておりますがこのような形状のスペクトルとなる。
0:14:23	最大加速度としては水平方向 617 G a l、鉛直方向 394 G a l 制度となっております。
0:14:32	で、この
0:14:34	炭鉱基盤表面にしてあげました標準応答スペクトル。
0:14:37	を考慮した時、地震動と基準地震動 S s - A の応答スペクトル。
0:14:42	を比較して、基準地震動として来取り入れるかどうかというのを検討をしますがこちら 25 ページに示しており、
0:14:51	標準応答スペクトルを考慮した地震動は基準地震動 S s - A を一部の周期体で上回っていることから、基準地震動 S s C V として採用いたします。
0:15:02	26 ページね。
0:15:05	許可のものも含めました基準地震動の最大加速度の一覧ということでまとめて示しております。
0:15:13	赤字のところですね S C 5 標準応答スペクトルを考慮した地震動 617 ガル。
0:15:18	税方向 617 G a l 鉛直方向 394 ガルっていうふうに、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:24	なっております。地震動評価については以上でございます。続きまして基礎地盤の評価についてご説明いたします。
0:15:36	日本原燃の工藤と申します。以上のように策定した地震動を基準地震動 S s 仕様を用いまして、再処理施設廃棄物管理施設、
0:15:47	M O X 燃料加工施設について、基礎地盤ですね。はい。評価をしてきた結果ですね、解析し対象断面動的解析を行いまして、
0:15:58	基礎地盤の滑り、支持力、底面の傾斜については、いずれもですね既往の地震動による評価基準値の。
0:16:07	を満足することを確認してございます。また施設の周辺には、地震力により、評価対象施設に重大な影響を与える周辺斜面が存在してございません。
0:16:24	はい。以上です。
0:16:25	資料 1 に関しての説明を。
0:16:29	以上となります。こちらから以上です。はい。ご説明ありがとうございました。ここでですね一つ議題を切りまして審査側から確認すべき事項等あればですね、随時発言をお願いします。
0:16:43	はい。規制庁の佐藤ですけども。
0:16:46	私から何点か確認させてください。
0:16:49	6 ページ 7 ページなんですけども。
0:16:53	これ御社の解放基盤表面ってのは G L - 225 メーター。それから地震基盤って本体許可の時は G L の - 3010 と。
0:17:03	100 メーターっていうことだったんですけども、今回
0:17:07	2200 メーター / s e c の地盤異常の地盤ということで、
0:17:13	7 ページ見てみるとね、御社の場合はこの、
0:17:18	G L - 1220 メーターの辺りですけども S 波速度で 2740 メーター / s e c のこの上面に入れるっていう考え方も
0:17:27	一つあり得るかなと。あり、あったのではないかなと思うんですけども。
0:17:32	今回マイナス 3100 に入れたっていうその考え方についてちょっと教えていただきたいんですけども。
0:17:43	はい。日本原燃の工藤でございます。
0:17:45	受振基盤面。
0:17:47	評価の受信基盤に入力する妥当性ということでございますけども、まず、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:54	地震基盤相当面というものは地震基盤絡むと、地震、地盤増幅率、増幅率が小さく、地震動として地震基盤面と同等とみなすことができる地盤の開口面。
0:18:04	というふうに定義されていることを踏まえまして、標準応答スペクトルというものは、地震動の持つ特性のうち震源特性と伝播伝播経路の特性というものを含んでいるもの。
0:18:15	であり、あり、サイト直下の増幅特性については各サイトごとの考慮が求められているものこちらとして考えております。
0:18:23	当社におきましては、敷地の地盤、
0:18:26	地震基盤から解放基盤表面までの増幅特性こちらを考慮。
0:18:30	全体で考慮できるモデルとしまして、深部地盤モデルを基幹職に作成、策定しておりましたので、
0:18:37	当社の地震基盤に入力するということが妥当ではないかと考えております。以上です。
0:18:43	日本原燃のオガセでさらにちょっともう一つだけ補足をさせていただきます。我々今回作成地震動の引き上げの際に用いました深部地盤モデルなんですけれども。
0:18:53	許可の際に、既許可の際にですけれども地盤の3次元地盤モデル等を用いまして妥当性というのは検証しております、ディー・ディー・エスでV S深さでいきますと3000メートルぐらいのところにある程度の基盤面らしきものがありまして、
0:19:07	そこからの解放基盤面までの増幅特性、これについて、観測記録ですとか他の深部のボーリング結果、そういったもろもろのものを踏まえまして保守的な増幅特性を見れるというところを確認した上で作っておりますので、今回この3000メートルの深さのところに入力して解放基盤まで引き上げるというのは、
0:19:25	基準地震動の我々の設定といたしましては、保守的な評価になっているというふうなこともいえるというふうに考えてございます。以上です。
0:19:34	佐藤ですけども、保守性を踏まえてマイナス3100のところに入れたというふうなことなんです。
0:19:41	おそらく奇跡基準。
0:19:45	解釈を踏まえるとね、多分この2740の頭でもよかったのではないかと、思うんですけどもさらなる保守性っていうかそういうことをかんがみて、
0:19:56	マイナス3100に入れたっていうそういう理解でいいんですかねそうすると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:02	はい。日本原燃のオガセでございます。おっしゃる通りでございます。我々としたしましてはある程度の保守性というところを考えましてより深いかたいところのところに入力をするというところを考えました。さらにそれが我々として許可の際に説明してございます地震基盤、それとの連続性も踏まえて、適切であるというふうに考えておりますので、
0:20:21	このような設定にしてございます。以上です。
0:20:23	はい、佐藤ですわかりました。仮にっていう話なんですけども、例えばこの2740の上に、上面に入れたとすれば、
0:20:34	既許可のS sに包絡される可能性はあったんですかね。
0:20:40	ちなみに教えていただきたいんですけど。
0:20:44	はい。日本原燃のオガセでございます。こちらの実情を申しますとこの深部地盤モデルの作成なんですけど、今回の資料にちょっと載っていないんですけどこの作成の際に、やはり地震基盤から解放基盤の、
0:20:56	伝達関数というか当時エイチオーバースペクトルベースでセッティングかけていたんですけども、その地震基盤部の解放基盤というふうに作ってありましたのでちょっと途中から入れると、果たしてその増幅特性がこの途中から入れたものの、
0:21:08	一番上の解放基盤までの増幅特性を必ずしも何ていうんすかね、適切に反映してるとは、ちょっと見がたいなというところもありましたので、やはり記録で、ちゃんと検証ができて、この地震基盤分の対応基盤でやるというところが説明性上も科学的に問題ないのかなというところで、
0:21:25	我々としてはこの引き上げを行った次第でした。
0:21:28	はい、規制庁サトウですそうするとその理由が一番大きいということですかね。なんかね。
0:21:34	実情を申しますとその理由が一番大きいというふうに考えてございます。うん。そうすると、ちょっと資料にね、ちょっと今日、下の脚注でも構わないんですけども。
0:21:43	その部分を付加的にちょっと追記していただくことは可能ですかね。
0:21:49	もちろんです日本原燃のオガセですもちろんその旨ちょっと我々としてここに入れた理由というところ動機というところを、の下の注記なのかそういったところに記載をさせていただきたいと考え各場所はお任せしますけども、その上で書いて欲しい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:05	はい、日本原燃的那須です。かしこまりました。
0:22:12	それからもう1点お願いでちょっとさっき
0:22:15	藤、これ観測記録の話になるんだけど、その神経のある場所みたいな すんこともちょっと関連してくるんで。
0:22:23	そういったその情報も入れておいていただきたいんですけども。
0:22:29	はい。日本原燃の工藤でございますかしこまりました。敷地での地震観 測の状況につきまして、1枚ページふやすなりなんなりで、ちょっと情 報を追加させていただきたいと思います。以上です。
0:22:44	それからサトウですけども9ページですね。
0:22:48	9ページのこの制限派の重ね合わせらん水槽で模擬地震を作るときにM が6.9で、
0:22:56	等価震源距離より10キロというふうな、こういう設定してますけど も、
0:23:01	もう少しこの辺の考え方をですね少し教えていただきたいというふう に思うんですけども。
0:23:10	はい。原燃のオガセでございます。こちらの間野第徹に基づきますと振 幅包絡線、これ設定しているときの根拠といたしましては、 $X_e 90$ キ ロ、これにつきましては間野第徹-3図の中で一番近いところという ところで設定をしております。
0:23:28	ただこれ規制庁さんの方で作成されました標準応答スペクトル、これ を作成する際に各地震は地震観測記録に対して距離補正で5キロです かね。
0:23:38	5キロというかいうところの距離補正されているものよりも、長くな っているというようなところになっておりますのでは形としては長くなる ような設定にしている $X_e q$ となっております。次マグニチュードの方 でございますけれども、これ単純にMw6.5相当のものとしてそこから 逆算して6.9と。
0:23:55	いうふうにしてございますけれども、下の右下の方にちょっと注記で記 載してございます。当社敷地周辺での地震の発生蒸気発生状況といいま すか地震環境というんですかね。
0:24:06	そういったところを見ますと、やはり我々の方での我々のサイトが ある値、こちらの地震発生層の厚さ考慮してみますと、やはりmmとし ては2.6、5ぐらいということが特定せずとしては考慮しうる。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:18	地震規模というふうなところも考えられますので、現状 6.9 というふうに設定しているというのは、我々のサイトの特徴を踏まえても保守的な設定になっている。このようなはな判断をした上で、M6.9 の 10 キロ。
0:24:31	これに基づきまして振幅包絡線を設定したというようなところでございます。以上です。
0:24:38	はい。大体考え方わかりました。
0:24:42	10 ページ 11 ページなんですけども、これ J A C の基準値に照らし合わせてっていう説明ありましたけども、
0:24:50	これ資料にはその旨書いていただけませんかね。
0:24:54	適合の確認って、
0:24:57	ありますけども。
0:25:02	はい。飯尾峯をつけてくださいってそういうお願いなんですけど。はい、わかりました。ジャンルの引用する形で資料の方、若干説明させていただきます。以上です。
0:25:12	それから観測記録の話で 12 ページ、13 ページということで結局観測記録として使えるものは 1 個しかありませんでしたっていう話なんですけど。
0:25:24	これもうちちょっと規模下げると。
0:25:27	もう一つ二つなかった。
0:25:29	でしたっけなんかちょっと本体許可のときの審査、ちょっと今手元に地震記録がないのであれなんですけども。
0:25:36	例えば、もうちょっと下げるともうちょっと出てくる可能性もなきにしもあらず。
0:25:41	というふうな感じもするんですけども、最大加速度 10 ガルで切った理由ってというのは何、何かあるんですかね理由。
0:25:53	はい。日本原燃の間瀬でございます。今佐藤さんおっしゃいました通り、小さい地震と M4 とか M4 以下とかになりますと、規模規模は小さいなりの地震はられるというところは実情としてはございます。
0:26:06	今こちらでお示ししているのが、加速するのかな、最大加速度として取られてるものとして大きな地震という、敷地で獲られている記録が大きい地震として選定をしたところでございます。
0:26:16	先ほど申しました通り、ちょっと小さめの敷地でケア記録替えられてる地震というのもあるんですけども、やはりガル数の絶対値が小さいと

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	いうところもありまして非常にちょっとS N比が大きい、ノイズが結構大きいようなところになっておりまして、
0:26:30	そこからやはり今回、位相スペクトルなり位相特性というものを標準応答スペクトルに適合させて波を作るというような最大の目的がある以上は、やはりこの辺のS N比があまりこうノイズが大きい記録をとるというのもいかがなものかと思ひまして、やはり我々としては、
0:26:45	この記録としている敷地で一番下節度をつけられている者数の選ぶのが適切というふうに考えてこれを選定したところでございます。以上でございます。
0:26:55	はい。佐藤です。わかりました。
0:26:57	14 ページでさっきちょっと説明について行けなかったところがあるんですけども、NSA分の方で600galに補正をしていないみたいな話がありましたけども、
0:27:10	その説明ちょっとよくわからなかったんですが。
0:27:14	補正をしていないって言ったのかな。
0:27:16	その説明がちょっとよくわからなかったんですけども。
0:27:20	その意図をちょっと教えて欲しいんですが。
0:27:23	はい。日本原燃のオガセでございます。こちらなんですけれども14ページの波でございますけれども、まず事実として、説明お話ししますと、一番上に地震観測、すいません模擬地震は作成したものが三つ。
0:27:37	横に並んでますけれども右から左から588点違うんで見真ん中が600Gal、非右っかわの400あるというふうになってございますけれども、やはり今回の位相を実装をある程度固定した上で、何名を作るというふうな作業をしているというのと、
0:27:52	ものがございますので、ピッチング、その標準応答スペクトルに合うように、地震ピッキングをかけた際には、最大加速度もある程度のずれというものがピッチングの結果として出てきます。
0:28:02	当然その際には応答スペクトル1ヶ月間、下に書いているものというのを満たしたものであるんですけども、やはり最大加速度というのは応答スペクトルの中では定義が、
0:28:12	一応ありますのでやはり最終的に作成する地震は、といたしましてもそれとの連続性を踏まえて、最大加速度、こちらの方を最終的には手動で補正するというようなことを自身は作成するときにはやっているというものでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:26	これがですね、EWとUDにつきましては、ちょっと今補正かけた後の なんでやっているんですけども、ちょっとNS方向の分については現 状ちょっと補正していない波ベースでちょっと検討の方を進めてしまっ ていたというところでしたので、
0:28:40	今回、今回はすみません、次回のヒアリングなり審査会合の際には、こ ちらの評価結果NS側の下流の評価結果ですね、矢口とか小栗別府さ ん。
0:28:50	そういったものにつきましては、NS方向の波をきちんと600GaIに 補正した波、こちらの地域で基盤の方をお示ししたいというふうに考え てございます。こちら申し訳ございません本当は資料をお出しする際に きちんと直した上でお出しするべきだったものなんですが、
0:29:05	ちょっと資料、市へ提出後にちょっと気づいたところでしたので、 現在そちらの方、や、作業の方を進めてございます。ちなみに結果の方 はられておりました600GaIに。
0:29:14	このNS方向に補正しましても、向こうの着地とかエネルギーステップ の計算というのは、全然変わらないというような結果もられてございま すので、今後設置別に差し替えの方させていただいた上で、改めて出し 直しの方させていただきたいという。
0:29:29	ふうに考えてございます。以上です。
0:29:31	うん。ちょっと確認なんですけどもデジタル値だけ町が間違っていた。
0:29:36	ですかそれともその、
0:29:38	これは形そのもの自体それから下のスペクトル
0:29:41	そのもの自体も間違っているんですか。
0:29:44	間違っているって言い方は適切ではないかもしれませんが、
0:29:48	日本原燃のオガセです。デジタルですねこちらのこちらに図で示してお ります、8Kの図、また応答スペクトルの図につきましても、600GaI に補正したベースで、書き直しますと違う線になるということになりま す。ただ
0:30:02	何ていうんですかね最大加速度のところは少し変わるだけですのでそう いった測定結果に対して影響を与えるものではないしかしながら、やは り評価の連続性としてきちんと補正の方はした方がいいというふうなど ころの考えでございます。
0:30:30	ちょっと、もう一つ聞きたいんですけどね、これ何で600GaIに何 か、わざわざその補正補正をする意味があるんですかねなんか。
0:30:40	そもそも。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:41	ちょっと前のOfficerをしてしまったので、おっしゃる通り、ご懸念あるかと思います。本来の話でいきますと、模擬表目標となる標準応答スペクトルに対してフィッティングする上では、
0:30:54	やはり最大加速度バラバラになってし、
0:30:57	ありでありえる話というところもございますので、本来でしたフィッティングが、下の応答スペクトル比しかりS1比、これが満たしてれば最大加速度というのは縛りがかかるものではないと。
0:31:08	いうふうに考えてございますので必ずしも補正をしなければいけないというものではないというのはいえるかというふうに考えてございます。
0:31:17	と、そうするとね我々この種の話先行サイトでいくつかその事例の審査をしてきたんだけど、
0:31:24	ちょっとわざわざその600で補正というか頭打ちというのが、ちょっと言葉は適切ではないかもしれませんが、
0:31:33	決め打ちしちゃってあとはこの応答スペクトル比なりS1値なりを取って、その基準に適合するかどうかというのを、
0:31:43	見ているんだけど、多分ね先行サイトの場合はそんなことはしていなくて、おそらく素直に、
0:31:50	素直にやってる感じ。
0:31:53	なんですよ。
0:31:54	何でおっしゃったけどこの600。
0:31:57	或いはその水平では600鉛直で400人みたいな。
0:32:01	等でその頭打ち頭打ちっていうかね。
0:32:04	一義的に決めちゃってみたいなのを知ってるのかその考え方をちょっと教えて欲しいと思うんだけど。
0:32:17	オガセすいません少々お待ちください。
0:32:25	そうです。はい。日本原燃の大橋でございます。ちょっとサイト名はちょっと今ここで言うのはちょっとあれかもしれないんですけども今他の先行で審査を進めております齋藤さんの審査資料を拝見してございますけれども。
0:32:40	他の齋藤さんも同じようなことというのはやられているという認識でございます
0:32:44	ただこれというのは別に何かしらスペクトルをいじるとか、そういったようなところの意図ではなくてですね、やはり予備1といたしまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	この辺の最大加速度というところについては、標準応答スペクトルしっかりそういう目標にしている応答スペクトルと
0:32:59	何て言うかね、連続性を取るというための観点でそういうふうな補正をかけているというところがございます。そうなった時に例えばこの588ガルというところ小さくなっているところですのでこれを引き上げる形といったようなそういうようなところの補正をかけるというところにつきましては、
0:33:13	工学的といいますか設定されているスペクトルに対してというところのケアとしては連続性取る上では、やってもおかしくないような補正だというふうに考えております。以上です。
0:33:28	そうするとね、
0:33:31	そのフィロソフィーをもう少し書いていただかないと。
0:33:34	実際にやったことを書いていただきたいんですけどねこの資料の中に、
0:33:41	日本原燃のオガセさんのおっしゃる通りでございます。そういうふうに行ったことというところではちょっと今欠けていないところではございますのでそこについては、はいちょっと終着なのかちょっとやったところの、
0:33:51	流れに書くのかちょっと考えますけれども地域の方させていただきたいと考えてございます。だから、600400になるようにチューニングしたってことはない要するに多分ね。
0:34:02	原燃のオガセさんのおっしゃる通りのチューニングのところの話です。
0:34:07	やってることはわかりました。
0:34:09	あと15ページなんですけど、ちょっと構造物への影響の観点からの検討ということで①②③ってあるんですけども。
0:34:19	これ今般の議論でちょっと必要なのかなっていうところはちょっと私感じたんですけどね。
0:34:25	今回素直に標準応答スペクトルっていうものに対して、S sとして加えるか加えないのか。
0:34:35	基準地震動として追加するのかもしれないのかっていう観点D。
0:34:40	多分、淡々にご説明いただければいいのかなと思うんですけども、この①②③ってのはちょっと構造ディペンドの話になってしまうので、
0:34:50	そこまでまだこれちょっと次のステップなのかなって気はするんですけどね。
0:34:57	我々の今の土俵でこれを何かその議論して、値を比較して、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:03	だからこれよってたってあれですよ。せ。
0:35:09	と。
0:35:11	重ね合わせ、違うな、制限は重ね合わせの方。
0:35:15	欄水槽のほう取りますっていう理由にはしてるんだけど。
0:35:19	ちょっとこれ必要なのかわかっちゃうその観点。
0:35:24	からいくとね、私は、多分これ今般の資料にはためにいらんんじゃないかなと思ってるんですけども。
0:35:30	ここまで踏み込んで考えたりをちょっと教えて欲しいんですけど。
0:35:36	はい。日本原燃のオガセでございます。こちらの 15 ページの図でお示ししてございます通り、目標スペクトルとしては、当然標準応答スペクトルとして設定、同じものを設定しているんですが、
0:35:48	やはりそこに、位相を変えて、制限重ね合わせというような位相の特性を考えた場合、まず観測記録の位相を踏まえた場合というところでそれぞれ作るということになりましたのがこの 15 ページなんです。
0:36:00	どうしても最終的な応答スペクトルここにあるようなこの 15 ページの図にあるような、図の通りなんですけれども、どうしても特に長周期側のところでわずかなやはり出っ込み引っ込み。
0:36:11	これはやはりチューニングかけてる以上必然的に出てくる、この出っ込み引っ込みでございますけれども、この応答スペクトルだけでは必ずしもどちらかのご指摘というふうには言えないというふうになってございます。
0:36:21	ただ施設影響の観点で見たときにはやはりどちらかの波が保守的であれば、一つの標準応答スペクトルから作った波で位相違いであれば、保守的な方、施設に対して保守的な方のみを基準地震動とするということで我々としては説明可能というふうに、
0:36:36	考えてございますので、ある意味この観測記録の位相というのは決して保守的にならない波ですので、制限はの方だけを数というふうにはちょっとさせていただくようなロジックとして今回こちら、根拠をつけながらちょっとご説明の後追加させていただいた次第でございました。
0:36:51	以上です。
0:37:15	ちょっとさっきの話戻るんですけどね。
0:37:18	さっき 600400 でチューニングしますというお話ありましたがこれ多分我々を退け審査実績からするとやっぱりね、制限はの重ね合わせによる方が、プラス移送の方が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:30	実観測記録にも大きくなるっていうのは大体どこのサイトでもそんな印象を受けているんですよね。なので、600400 にチューニングしなくても、
0:37:40	素直にやれば多分、そっちの方が大きくなるんで、よってもって最後はその、
0:37:46	プラン水槽の方使いますっていう結論になるんだとは思うんですよ。そうすると構造物分の影響の観点から云々かんぬんっていう議論をしますけども、この辺はちょっと不要なのじゃないかなというふうに思います。
0:37:59	それから当然ながらね長周期であれば出っ込み引っ込みあるのはそれは当然、我々も承知してる場所なんですけども。
0:38:06	なので、ちょっとここはもう少し素直にやっ、
0:38:11	直の結論で落とすのがいいのかなって気はするんですけどね。一応申請ベース等で今皆さんの考え方を聞いているんですけども。
0:38:20	そんな感じなんですけど。
0:38:25	日本原燃のオガセでございます。今佐藤さんおっしゃいました通り申請書ベースでのご説明に今回その根拠をつけた形で、今回資料を出させていただいているんですけれども、申請書ベースではこの
0:38:38	通して原案の重ね合わせ事業方法こちらの方を記載しておりまして、さらに他の移送ここで言う観測記録の位相を用いる方法でも、確認していますというふうな形で申請しておりましたので、その他の移送というところをお出ししていたところです。
0:38:52	やはりそこでつまり我々の考えとして先ほど申し上げたこの①から③の手法で、保守性がいえるというところでこの資料として作成してきたところでございます。
0:39:03	で、あと今先ほど規制庁さんおっしゃられた、先ほどの補正を外したらという観点のところなんですけど、あれであくまで最大加速度値だけを補正しているところでございます、何全体をケースバイして 400 に合わせるとかそういうような話ではないところでございます。
0:39:20	ですのでこちらの、あくまでですね応答スペクトル数値代わりに仮にその補正を外したとしてもこの 0.02 秒ぐらいのところが変わるか変わらないかというところにして、その全体がケースバイに引き上がるというようなそういうようなところにはならないと、いうようなところでございます。
0:39:35	と事実か事実関係としては以上でございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:40	なるほど。
0:39:41	そうするとあれですかね。
0:39:44	審査会合で指摘してもいいんですけど。
0:39:52	うん。
0:39:54	そうですね。そうですね。
0:39:58	そうですね。
0:40:00	わかりました。ちょっと考え方はまずい、確認してますので一応御社の考え方としてはわかりました。
0:40:07	それから、
0:40:12	24 ページですかね。
0:40:15	これあれですか。これ解放基盤表面の地震動の策定、設定ちゅうことなんですけども。
0:40:22	観測記録の
0:40:26	観測記録の、地震基盤相当での記録引き戻し。
0:40:33	って言った方が正しいのかもしれないんですけども。
0:40:35	それってありますか、計算してますか。
0:40:48	今 G L - 200 メーターでの記憶だよね。
0:40:54	で、原燃の黒田です。すいません。社長さんおっしゃってるのは、
0:41:00	と今回観測記録の椅子基づい傾斜して自分の水を作る時に使って行っている地震ですその通りです。
0:41:11	西郷基盤表面での地震。
0:41:13	うん。
0:41:14	取れてるかというお話でよろしいでしょうか。
0:41:18	いや、比較をしたいんだよね。新基盤とか、解放基盤でも、
0:41:34	日本原燃の緒方です伊東掴みかねて、掴めていなかったら誠に恐縮です。今の 13 ページにちょっと使った地震観測記録の、
0:41:43	観測記録の時刻歴の加速度は県と、フーリエはあまり、特にそこでは見なくてもいいんですけども時刻歴はありますけれどもこれの解放基盤ベースでの
0:41:55	地震断層規模別に、これのは系統、あと、今おっしゃっていた比較を説明されたいということでしたけれどもそれを、この解放基盤でのこの観測記録と、
0:42:06	藤難波熱田 5 年。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:09	10、24 ページですか、応答スペクトルと比較するというようなそういうような意味でよろしかったでしょうか。
0:42:16	そういう意味なんですけど。
0:42:19	はい。かしこまりましたのそういう数自体を作ることはもちろん可能でございます。ただタダの大木タダ系の話なんですけども、24 ページのものは当然 617 g a l というふうにその標準応答スペクトルベースを引き上げたもので、
0:42:32	こちらの 13 ページにお示ししているやつ、これを 125 人、差し替えた上で応答スペクトル出すとなると当然 10G a l 程度のもので、レベル感としては全く違うものとしての応答スペクトルの比較になりますが、それでも、
0:42:46	問題はないでしょうか。
0:42:48	その値違いがあるかどうかというところを見たくて。
0:42:52	はい。うん。
0:42:53	言っているので、どっちが大きいか小さいかみたいなその議論はもういいんですけどね、自明なんで。
0:43:01	かしこまりましたそういう時の削除はもちろん可能でございますので、対応いたします。
0:43:10	あと私最後なんですけど、
0:43:13	これは次の次の次のステップですけど 27 ページの、周辺地盤の安定性評価、基礎地盤と周辺斜面の安定性評価で、
0:43:22	本体審査の時はあれでしたよね許可のやつだと。
0:43:26	留萌はがやっぱり一番厳しい。
0:43:30	結果になっていたと思うんですけどもやっぱり、
0:43:33	今回 S s - C V っていうのを作ったんだけどやっぱり留萌留萌はがやっぱり一番厳しい。
0:43:39	結果になった。
0:43:40	でいる。
0:43:42	ですかね。
0:43:43	今ちょっと私手元に再処理の申請書しか持ってきてなかったんですけども、廃棄物管理とか M O X も含めてなんですけどね。
0:43:52	ちょっとそこだけ確認を取らせてください。
0:43:55	日本原燃工藤です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:57	こちらに記載の通りですね、ルール違反がですね私語を加えてもですね、一番大きいと、その評価、評価値としては、一番その厳しい値になっているという評価結果に変わりはありません。
0:44:11	以上です。
0:44:13	わかりました。
0:44:15	私からはとりあえず以上です。
0:44:22	他に何かありますか。
0:44:28	宇井さん何かありますか。
0:44:31	はい宇田です。
0:44:33	さっきの佐渡さんの、
0:44:35	コメントを明確にないけど間野の、
0:44:38	事業者の回答が 13 ページの、
0:44:42	さっき何か、
0:44:45	対応基盤ね、もう 1 回行き開けて計算する想定はなくては鳥飼と 14 ページの 8K を、
0:44:54	地震基盤にもう 1 回入力して、
0:44:57	置き場目の発揮を計算して、最後の生検 8 件の入力は、
0:45:04	青木坂内寛さんその理由参画したいと認識していますが、これ、正しい図でしょうか。すみません補足ありがとうございますその通りです。
0:45:15	ただ、日本原燃のオガセ、それならば了解です。つまり、地震基盤で制限は重ね合わせて作ったもの、観測記録で作ったものがありますのでそれをヨーイドンで一緒にあげて解放基盤で取り出したものを比較するというようなそういった趣旨で、そうそう。麻生。
0:45:31	はい、かしこまりましたごめんなさいちょっと意図が伝わりません。
0:45:35	はい。
0:45:35	かしこまりました。対応いたします。
0:45:50	規制庁の岩田です。もう大体見た分共通して聞きたいことはですね、代表して聞いていただいたんですが
0:45:58	すでに実用炉の方ですね、いろんな審査が進んでいるんですけども。
0:46:02	多分、
0:46:03	一番大きな皆さんにとって、
0:46:06	論点 79 ページの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:09	ところのM6.9をどうするんですかっていうところがですね、今先行の審査の中では、野田の手法が保守的だというのはわかるんだけどもそれをね、
0:46:19	M、それを使ってM6.9を出すときに、どういう考え方でやるんですかっていうところがまだちゃんと答えもらってないんですけども、そこが一つの大きな論点というかですね、要は、
0:46:31	計算をしなければいけないことになってしまう。
0:46:36	何て言うんすかね。
0:46:38	主要な技術的な論点ではないんだけど決めの問題なので、先行で何やったときに御社どうするんですか再度計算するんですかっていうことになるんですよ。そこは今どのようにお考えですかね。
0:46:52	日本原燃のオガセでございます。今おっしゃっていただきました他サイトさんでの指摘事項マグニチュード6.9なのかどうかというところの保守性とか、
0:47:02	そういったところのお話、ご指摘だったというふうに認識してございまして、当然我々としてもそちらの審査会合の方はウォッチしてございました。こちらにつきましては、やはり6.9、Mw6.5に対応する気象庁マグニチュードといったときには、
0:47:16	やはりこのMw6.5というのもある程度幅があるのでまあだなという話もあるんじゃないか、そういうようなところだというのが具体的な話だというふうに思っておりますけれども、当然やはりこの7にした方が長くなるということもございまして事実としてございますので、
0:47:31	まずはそちらの波の方はまず作ってみた上でその上で影響検討7日間比較なのかそういったところを踏まえて、最終的に設定すべきS sとして設定すべき、何のですねこのMとかX e qの設定。
0:47:43	これをきちんと設定を反映した上で、最終的な基準地震動にするというところではございまして、場合によってはそういった計算のし直しそういったところも視野に入れた対応というふうに考えてございます。
0:47:54	以上です。はい。適切な形ですわかりましたじゃ準備は少しは進めておいていただいて最終的にどうするかというのは当然のことながら先行する審査の結果も踏まえて、御社で判断されるとそういう理解でよろしいですね。
0:48:08	はい。日本原燃のオガセでございます。おっしゃる通りのご理解でございます。
0:48:14	はい。多分後はもう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:17	何ていうかね確認事項は我々としてはないんだと思うんですが、日本原燃から何か確認しておきたいこととかありますか。
0:48:31	日本原燃のオガセですこの標準応答スペクトルの件につきましては当社からの確認事項特にございませぬ。
0:48:38	はい、わかりました今回地盤モデルは真木ほかのものを使って、地震基盤相当面として基準で設定している 2200 ではなくてですねもうちょっと深いところに入れて保守性、保守性を。
0:48:50	考慮するというようなやり方と、あとは先ほど少し議論がありましたけれども、地震観測記録をね、使ってやるときに、0.02 秒のところだけ嵩上げする必要があるのかないのかというところのね、見せ方の問題ですかね。
0:49:04	結局最終的にどっちが保守的なものをですねどのような観点で選ぶかという時に、ちょっとページ忘れましたが 010203 でやっていただいたような比較的どっちかというプラント側の検討に近いような話ですね。
0:49:17	それを先行して見せるのかどうかというのは少し、これは審査会合での論点になろうかと思えますんで、準備のほどよろしくお願ひいたします。
0:49:28	はい。日本原燃のオガセでございます。ただいまいただきましたご指摘留意事項につきまして廃止をいたしました。
0:49:36	ですねそうすると次はもう、これ多分審査会合にかけた方がいいと思うんですが、まず説明時間はどのぐらい必要ですかね。
0:49:46	資料 1 については、
0:49:52	はい。日本原燃の間瀬でございます本日は 15 分程度を目安としてご説明いたしました但本日いただきましたご指摘等を踏まえましても特に説明時間長くなるというようなこともございませぬので、同じく 15 分程度でお時間いただきますと、幸いでございます。
0:50:07	わかりましたじゃ本日同じぐらいということですね。引き続いてですね評定とスペクトルの方がええ。
0:50:14	やりとりがないんであれば資料の 2 の方の説明をお願いできますでしょうか。
0:50:31	すいません。日本原燃の多田でございます。資料 2 のうち、2021 年 3 月 2 日の産総研の地質創業者センターより、
0:50:42	プランされましたねじブック第 2 版による、当社の敷地周辺陸域の活断層評価への影響について、ご説明させていただきたいと思ひます。4 ページ目をお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:56	こちらは震源として考慮する活断層として、引き続くと当社の評価を比較したものでございます。
0:51:03	日付の内容を、黄色のボックスで、当社の評価の内容を、緑のボックスで示しております。
0:51:10	平時作りには、活構造として横浜断層、
0:51:14	出戸西方断層、
0:51:16	六ヶ所撓曲、神原小断層、曾田撓曲が示されております。
0:51:21	このうち、横浜断層、出戸西方断層、神原5断層、曾田当局は、左の表に示す通り、いずれも当社の震源として考慮する活断層の評価の長さに表現されております
0:51:35	土肥作り示されている活断層を踏まえても、布施の震源として考慮する活断層の評価に変更はございません。
0:51:44	これ2の構造につきまして、以下にご説明いたします。
0:51:47	5ページ目をお願いします。
0:51:51	こちらは、横浜断層について比較したものでございます。
0:51:55	左はのりづく、右側、愛知当社の地質図をぐちゅ絵図中の黒線は、
0:52:02	米津副で示されている横浜断層の範囲、赤線は、当社の横浜断層の評価の範囲を示しております。
0:52:10	以降のページもこのようにお示ししております。
0:52:13	野辺地図9によると、
0:52:15	横浜断層は錦西側傾斜の逆断層で、何人は、
0:52:21	横浜町太郎須田下奥埠頭南南西に延び、横浜町天田付近により、
0:52:27	金より北では不明瞭となり、写し中野沢付近で選別するとしており、その長さは作り約11キロメートルとされております。
0:52:37	当社の評価では、横浜断層について、檀断層及び西側、西上がりの逆断層を伴う撓曲構造が認められないことを確認した横浜町向平付近を、安全、南端、
0:52:50	移したか、北川和田伊佐金を担当する約15キロメートルの区間を震源として考慮する活断層と評価しております。
0:52:59	従って、横への日付に示される。
0:53:02	横浜断層は、当社の震源として考慮する活断層の評価に含まれるため、当社の評価に変更はございません。
0:53:10	6ページ目をお願いします。
0:53:16	こちらは西方断層について、と比較したものでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:21	フィーズ服に記載されている、二杯酢フックによると、
0:53:26	衛藤西方断層及び側から柄沢にかけてほぼ南北に延びる。
0:53:32	西側隆起の逆断層としており、その長さ、家族で約5キロメートルとされております。
0:53:38	当社の評価では、NE D O西方断層について、リニアメント変動地形が判読されず、
0:53:44	逆断層が認められないことを確認したC測線を南端。
0:53:49	O Tキロと北端する約11共鳴トラック間を、震源として考慮する活断層と評価しております。
0:53:57	従って、ノイズ副に示されるOと西方断層は、
0:54:01	当社の震源として考慮する活断層の評価に包含されるため、
0:54:05	当社の評価に変更はございません。
0:54:08	7ページ目をお願いします。
0:54:11	こちらは別途西方断層より学校、
0:54:15	地質構造でございます。六ヶ所撓曲について比較したものでございます。
0:54:20	ヒツツに示す、記載されている六ヶ所当局は、渡部ほか2008及び渡部2016の引用。
0:54:29	でございます。
0:54:31	田辺ほか2008及び渡部2016が出席する6とか六ヶ所当局は、
0:54:36	第325回審査会合令和元年12月20日で、スペース、
0:54:43	に、その存在が認められないことを説明しており、
0:54:47	説明しております。従って、
0:54:50	非近傍には出戸西方断層以外に震源として考慮する活断層は存在しないとする当社の評価に変更はございません。
0:54:59	なお、渡部ほか2008 渡部2016、渡部2018及び渡部2019に対する事業者の評価については、巻末に掲載しておりますが、これまで審査会合資料の再掲となりますので、説明は割愛させていただきます。
0:55:16	8ページ目をお願いします。
0:55:20	こちらは、神原小断層、七戸西方断層について、と比較したものでございます。戸塚遊佐撓曲でございます。
0:55:30	なり図9によると、
0:55:32	相原小断層は、さんが倉地山地の桃園からネジ野辺地側に沿って、神原港付近まで延びる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:39	東側隆起の活断層としており、その長さは持続で約 4 キロメートルでございます。
0:55:45	迫田当局は三角だけ 3 市の桃園に沿って、渋川付近から南方へおおよそ南北走向に延びる西側隆起の撓曲構造としており、
0:55:56	図 6 の範囲内における長さは、
0:56:00	増幅の範囲内における流そう持続で約 11 万キロメートルとされております。
0:56:05	当社は、法月に示すほぼ同様の区間をそれぞれ三原小断層、
0:56:11	七戸西方断層としております。
0:56:13	三原小断層指名西方断層は、
0:56:16	伊井先生を異なるものの相互の位置関係から、
0:56:20	地震動評価上は一条野本氏、長さ約 51 キロメートルの案を審議のとして考慮する活断層と評価しております。
0:56:29	従って、上江洲副に示される菅原子断層、曾田当局は、当社の、
0:56:37	震源として震源として考慮する活断層の評価に包含されるため、当社の評価に変更はございません。
0:56:44	9 ページ目 10 ページ目をお願いします。
0:56:48	こちらは、敷地近傍の地質地質調査、層準について、
0:56:53	イメージ図福と当社の評価を比較したものでございます。
0:56:57	9 ページ目には、なりつくと。
0:57:00	そうですね。震源敷地近傍の地質層序フロー。
0:57:05	1 ページ目には、
0:57:06	実質を比較しております。
0:57:09	当社の敷地近傍に対応するおおよその層序赤点線でお示ししております。
0:57:16	当社が中新統の地層とする甘利層、鷹架層は、
0:57:20	フナミズ副に対比され、される相当、ほぼ同様の地質層序分布年代でございます。
0:57:27	鮮新統の相当する砂子又層は、
0:57:31	喜多村編 19862 ナガイ、敷地周辺に分布する鮮新統から下部更新統を一括して砂子又層としております。
0:57:40	また、従来砂子又層上部層としていた地層のうち、
0:57:44	信号の第 4 系下部から中部更新統については、六ヶ所層と、
0:57:49	称し場所しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:52	これらの実は野木ずくの清水みそは地層、天田層に対応しており、
0:57:57	実質上、全部年代はほぼ同じでございます。
0:58:02	認知基準、12 ページ目をお願いします。
0:58:08	こちらは、式周辺の地質実装事案について、日付と、
0:58:14	当社の評価を比較したものでございます。
0:58:16	先ほど同様に、11 ページには、八木図と、当社の比、地質、周辺陸域の地質層序表を、12 ページ目には地質図を比較しております。
0:58:27	当社が中新統とする地層のび、青点線で囲っております。猿が無理そう泊層、鷹架層、天野 3 層は、
0:58:36	次の日づくに対応される、相当ほぼ同様の。
0:58:41	そう。地質層序分布年代でございます。
0:58:44	この色点線で囲っております、和田はそう。
0:58:48	ところ。
0:58:49	曾我宗松山宗は、それぞれのニーズ区の鬱上層バラストコツボがそう。
0:58:56	に概ね対応しております。
0:58:58	オレンジ点線で囲っております一型理想は、
0:59:01	法月に対比される地層とほぼ同様の実装力分布でございます。
0:59:07	当社が鮮新統から下部更新統とする砂子又相当株。
0:59:12	方針等から中部更新統とする 6 ヶ月その一部の日付の赤色点線でお示ししております。CMS そう。
0:59:21	館宗天野層に対応しており、
0:59:23	実装上分布年齢は同じでございます。
0:59:27	14 ページ目をお願いいたします。
0:59:29	まとめでございます。
0:59:31	その日付に示される活構造と、当社が評価する震源として考慮する活断層は、
0:59:37	を比較した結果、技術部が示す横浜断層、
0:59:42	衛藤西方断層、相原小断層、
0:59:44	曾田撓曲は井手も、当社が震源です。
0:59:48	考慮する活断層と紹介する範囲長さに包含されることを確認。
0:59:53	ました。
0:59:54	法月西氏、記載されている。
0:59:58	中新統の猿ヶ森層、泊層、鷹架層、蒲池の砂層及び鮮新統から下部更新統の清水みそ圧送天田層は、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:08	それぞれ、
1:00:09	当社の中新統の猿あまり数を、
1:00:12	泊層、鷹架層蒲野沢層及び鮮新統から下部更新統とする砂子又層と下部更新統から中部更新統とする六ヶ所層の一部に、
1:00:23	概ね対応し、これらの分布率、年代の認定はほぼ同じでございます。
1:00:29	従って、20万分の1実質副のヘッジ第2編の地質断層評価、地質地質層序を踏まえても、当社が変10日に変更はございません。
1:00:40	以上でございます。
1:00:49	終わります。
1:00:51	愛知とれば、すぐ。
1:00:53	設定地震動の新知見の方入ってよろしいでしょうか。
1:00:58	はい。それでは資料。
1:01:00	32ページからになります、
1:01:04	日本海溝千島海溝沿いの巨大地震モデルの検討について概要。
1:01:12	内閣府が2020年に出してるうち、
1:01:15	危険の当社の地震動評価への影響についてご説明させていただきます。
1:01:20	今申し上げました通り内閣府は2020年4月に日本海溝千島海溝沿いの巨大地震モデルの検討について、営業報告という知見を公表しております。この中で、
1:01:32	モーメントマグニチュード9クラスの科学的に想定される最大クラスのモデルとしまして日本海溝ずモデルと。
1:01:39	千島海溝モデルこちら二つを想定し、
1:01:42	震源域にSMGAを配置して震度分布の推定を行っております。こちらの当社の地震動評価への影響についての検討でございますが、
1:01:51	敷地において考慮している検討40分。
1:01:55	うち、プレート間地震がこちら日本海構造で設定されておりますので、
1:01:59	基準地震動策定に係る評価内への影響の有無について確認を行いました。
1:02:04	内閣府2020では、日本海溝沿い及び千島海溝沿いの巨大地震モデル検討しておりますが、
1:02:11	その震度分布、こちら33ページの下側に二つお示ししておりますけれどもこちら比較しますと、日本海溝モデルの方が敷地への影響が大きいということがあります。
1:02:22	赴任されますのでこちらのモデルと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:25	2011年東北地方太平洋沖地震を踏まえた地震、三陸沖北部から宮城県沖の連動のパラメータを比較。
1:02:33	し影響を検討いたします。
1:02:36	その比較が34ページの方に、
1:02:39	お示ししております。
1:02:43	敷地に一番近く、影響が最も大きいと考えられる、検討用地震のSMGA位置、敷地前面にあるSMGAと、
1:02:52	日本海溝モデルのSMGA①を比較いたしますと、基本件数では多くね。
1:02:58	同じ位置に同程度の面積。
1:03:01	このSMGAを想定しております。
1:03:04	また、
1:03:05	応力降下量や短周期レベルともに、
1:03:10	34ページの真ん中右側の表をご覧くださいんですけども。
1:03:14	検討用地震のSMGA位置の方が、日本海溝モデルのSMGA①よりも大きな値をとっております。
1:03:21	以上より、内閣府2020の知見を踏まえまして、一方、地震動評価への影響はないと評価し、
1:03:28	地震動のポイントは以上となります。
1:03:31	日本原燃の村田でございます。続きまして津波評価に関してご説明させていただきます。37ページをお願いいたします。
1:03:42	津波につきましては、当社の津波の評価の中で旧知見を踏まえた津波の評価、敷地近傍に想定される津波の規模感をどの程度かと、想定するっていう。
1:03:52	いうあるんですけども、その中で連動型地震の一つとして、北方への連動型と南方へのらん連動型地震でこの南方縁の連動型地震について、青森県海岸津波対策検討会の結果を参照しております。
1:04:05	今回先ほど地震動の方でもありました内閣府2020で出された知見を踏まえまして、青森県の方で追加検討が行われて津波浸水想定というものが、
1:04:16	再設定されましたので、その評価結果に対する、その評価結果のうちの町会への影響についてご説明いたします。
1:04:24	38ページをお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:30	今回の青森県の津波浸水想定におきましては、この紙面左にお示ししておりますものがこちらが既往の、もともと検討がなされていたもので、これに紙面右側の間に、日本海溝モデル千島海溝モデル。
1:04:44	破壊開始点のパラスト含めて、計5ケースあるんですけども、この
1:04:50	分を今回追加で実施いたしまして、各ケース、それぞれで評価するのではなく、このトータルとして、
1:04:59	複数ケースのシミュレーション結果を重ね合わせて最大の結果っていうところを整理をしております。
1:05:05	で、39ページをお願いいたします。
1:05:11	こちらが今回の青森県 2021 における、津波の浸水想定になってございまして、見開きの 40 ページには既往検討結果に 0 青森県海岸津波対策検討会 2012。
1:05:23	検討結果ということでこちらはまとめ資料からの再掲になりますが、ちょっと見開きで比較のために載せさせていただいております。
1:05:30	39 ページに戻りますが、今回の公表せた津波浸水想定においても、評価対象施設の立地する標高の高いところというところには、津波が到達していないことが、
1:05:42	確認できまして、あとは既往の検討結果と比較して、浸水範囲等は異なっているんですけども、この浸水深がどの程度のレンジにあるか、オーダー感としてどのぐらいあるかっていうところにつきましては、
1:05:55	この凡例のところちょっとお付けしております 5 メートル以上 10 メートル未満、この範囲っていうところには変わりはないっていうところがありまして、敷地における標高 40 メートルまでの到達可能性、こちらを当社評価においては、
1:06:09	検討する観点でございますので、そういったものを考えると、津波の規模感は、既往知見と同等であるっていうふうに考えております。
1:06:18	続きまして 41 ページをお願いいたします。
1:06:22	こちら先ほどと同様に 42 ページの方に表の検討結果を、衛藤示しております。
1:06:29	で、今回の青森県 2021 におきましては、6 ヶ所村、最大で 12.7 メートルというところになってございます。
1:06:37	適用の雨森金海岸津波対策編というか 2012 におきましても、6 から 12 メートルということで、最大どの程度かっていうところのオーダー感としては、同程度と考えております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:51	私近傍で見ますと、既往の検討結果 42 ページの方、
1:06:55	こちらにつきましては敷地近傍前面のところでは 10 メートルに出して ない結果であったんですが今回、10 メートル程度となっております。
1:07:03	ただし、43 ページの方に、こちらもまとめ資料の再掲になりますが、当 社のうち、北方への連動型地震の検討結果を載せておりまして、これ 10 名。
1:07:14	こちらの結果 10 メートル以上となっておりますので、この当社の解析 結果というところを上回るものではないというふうに考えてございま す。
1:07:23	44 ページをお願いいたします。
1:07:27	こちらが津波評価への影響のまとめということで、まず、今ほどご説 明、ご説明した通り今回、青森県 2021 は、既往知見等同等の規模感で あると。
1:07:37	いうふうに考えておりまして、また当社の評価においては、この既往知 見を踏まえた津波の評価を行った上で、この後の参考資料のところにお 示ししておりますが滑り量三枚モデルとか、
1:07:49	そういった検討をモデルに対して、検討を実施して、津波が敷地の高い ところに到達しないというところを確認してございますので、以上のこ とから津波評価への影響はないと考えております。津波につきましては 以上です。
1:08:05	それで日本原電の小原松川についてご説明。
1:08:08	今、
1:08:09	資料 53 ページから、
1:08:13	仲野ほか 2013 年ぐらいのポッチにある方に今日紹介の映像の施設、
1:08:18	いうことで、まず評価概要として花壇間の評価フロー 3 日残水等を追記 したものでございます。
1:08:26	今回の火山数の変更について、赤字で、普通、地域させていただいてご ざいます
1:08:32	まず、ローム左上のットウェルのところの一番最初のところございま すが、第 4 紀火山につきまして、今回のウェーバーの方針により、1 火 山減りまし 47 火山。
1:08:45	いうことになります。
1:08:46	また原子力施設に影響をおよぼし得る火山という観点では、プラス 1 火 山で 22 パターンになります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:54	その 22 火山すべてについてこの右側黄色のフローで、個別評価を行いますけども、活動可能性は十分小さいか。
1:09:04	また、設計対応不可能な火山事象が到達する可能性は十分小さいかについて評価いたしまして、この 22 課題について十分小さいということ、改めて評価してございます。
1:09:15	詳細について 54 ページ以降、ご説明させていただきます。
1:09:20	54 ページでございましてこちらの第 4 紀火山の抽出についてまとめてございます。
1:09:27	これまで、左の図の通り、地理的領域年第四期火山は 48 火山抽出でございました。
1:09:35	今回更新後に、水の通り、
1:09:38	仲野ほかエンバンが、
1:09:42	2011 年 6 月に更新されまして、それに伴います八甲田のクロモリと八甲田八幡平は、
1:09:48	八幡平火山群として統合されました。
1:09:52	これを受けまして結果として、第 4 紀火山は 48 から 47 火山に変更を行ってございます。
1:09:59	55 ページでございます。
1:10:02	代表火山の評価フローです。詳細は次ページ以降で説明いたしますが、
1:10:08	統合された八幡平火山群は、左下の、
1:10:12	将来の活動可能性が否定できない火山として抽出されます。
1:10:17	次の 56 ページをお願いいたします。
1:10:21	それで、詳細ご説明いたします。
1:10:23	まず、江川の新米これまでの評価でございしますが、八甲田クロモリと発生
1:10:31	これ八幡だけについて、第 4 紀火山と集中してございましてこれらの活動年代は、
1:10:38	大体 180 万年前から 160 万年前ということで両火山ともに最後の噴火からの経過期間が、全活動期間の長いことから原子力施設影響の終了火山ではないと評価してございました。
1:10:52	これについてこの下側の、今回更新後というところでございしますが、統合された八幡平パターン部の活動年代は約 250 万年前から 140 万年前。
1:11:03	に変更されてございまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:06	この活動年代の変更及び、年度 1987 の現在地に基づきますと、最後の武漢の計画期間が前活動期間よりも短いことから、
1:11:17	厚真でパターンブゲンシヨ進め協力をし得る火山として、新たに抽出いたしました。
1:11:23	続いて 57 ページをお願いいたし。
1:11:28	新たに原子力設定京都シール火山に抽出されたことから、設計対応不可能な火山事象の到達可能性について、評価をさせていただきます。
1:11:38	左の図に、
1:11:40	その分布図等を、絵を示してございますが、八幡だけ火山群の火砕流、溶岩流に伴う堆積物の最大到達距離は約 9 キロであり、敷地周辺には分布しません。
1:11:53	また、岩屑なだれにすべて斜面崩壊の発生値しか認められないことから、
1:11:58	きちんと到達する可能性は十分小さいと評価しました。
1:12:02	また、新しい火口の開口及び地殻変動については、八幡だけ火山群の過去の確保及び、
1:12:08	その近傍にしないこと、並びに火山フロントより、前古川に位置することからこれらの火山事象が敷地内で発生する可能性は十分小さいと評価いたしました。
1:12:19	続いて 58 ページのこの設計概要が様なパターンでしようについてでございます。
1:12:26	この八幡だけ火山を給源とする降下火砕物には確認され、
1:12:31	皆、おらず、その他の火山事象についても、従前の評価と同様に、
1:12:36	別に影響です可能性は十分小さいことを確認をさせていただきます。
1:12:44	最後に 59 ページでまとめでございます。
1:12:47	上記のスピードボックスで示す、これまでご説明した、評価結果。
1:12:52	それから、下のボスの通り、中野ほか 2013 の上盤の更新を考慮しても、従前の評価に変更はないことを確認いたしました。
1:13:01	タダの説明は以上でございますして資料 2 の説明は以上でございます。
1:13:09	はいありがとうございました審査側から何か確認事項があればお願いします。
1:13:17	はい。佐藤ですけども。
1:13:19	9 ページですかね。お願いします。
1:13:24	これ層序の話で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:26	以前、
1:13:28	東通の審査会合で指摘してたんですけども、
1:13:32	これ下北3事業者にはちょっと共通する事項かなと思って
1:13:39	ちょっと確認をとらせて欲しいんですけども。
1:13:42	これはあれですかね結局その、御社の砂子又層っていうのは、これ前回の指摘、東通に指摘した古藤の繰り返しになるんですけどね。
1:13:55	砂子又層と、ずくで行っている。
1:13:58	砂子又層ってのはちょっとね、粘弾か、年代感が違いますと。
1:14:03	ずくで行ってる濱田層とかは御社の言ってる砂子又層と、その宗層もおんなじだし、時代間も同じだし分布域も同じだしということで、
1:14:13	塾の名称とはちょっと違う、違うんですよというそういう指摘を東よりしてるんですけども。
1:14:22	そこでし、そのときの審査会合では
1:14:28	なかなかね、づくの層序と、皆さんの、
1:14:33	層序とちょっと違うので、何かその代表みたいなのを申請書に入れて欲しいみたいなそういうことを申し上げてたんですけども。
1:14:41	それで確認なんです小浜濱田層と、御社の砂子又層言ってる砂子又層っていうのは、
1:14:48	ほぼほぼ、さっき申し上げたようにそもそも同じですと分布域もほぼ同じですと。
1:14:54	それから時代感も同じですみたいなそういうことでよろしいですかそういう認識で。
1:15:04	ちょっと東通とかあとは、まだちょっとね、皆さんのサイトを少し南にあるので、ちょっと一対一に対応するかどうかちょっとわからないんですけども。
1:15:13	そういう認識でよろしいですか。
1:15:17	日本原燃の柏崎でございます。秋野さんおっしゃる通り、衛藤分の水井浜田層、当社の有数の鎌田層は、相当同じものと見ております。以上です。
1:15:33	わかりましたそういう認識をしておきます。
1:15:37	あとは、これも東寄りでは言ってますけど御社じゃなくて東通が該当すればいいのかなって思ってるんですけども。
1:15:50	場所忘れちゃったね。なんかりニアメント非常にどこだっけな。
1:15:58	ちょっと忘れちゃった今すぐ忘れちゃったけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:02	図9で、指摘しているリニアメント周辺のを少し資料を追記して説明をして欲しいって東通でも言ってるんですけども。
1:16:14	その辺は、
1:16:16	フォローアップされてますか。
1:16:19	大丈夫でしょうか。
1:16:21	どこでしたっけ名前ちょっと忘れちゃったけど
1:16:25	横浜断層歩。
1:16:27	檀の北方の方の、
1:16:30	お話でしょうか。
1:16:32	刀禰福間の。
1:16:34	藤。
1:16:35	東、西落ちの撓曲構造。
1:16:38	図示してる場所もあると思うんですけども。
1:16:41	そこのリニアメントということでございましょう。そうですね。
1:16:47	はい。横浜断層の北端の北方に図示されている撓曲構造については、
1:16:56	衛藤
1:16:58	場所側の指示三沢中流域ということで、当初の泊三枝の方で調査されると思うんですけども、そこに砂子又層の、
1:17:09	下部には、
1:17:13	いわゆる下北断層に対応するような、西内の撓曲構造とあと断層を推定。
1:17:19	しております。で、その駒田層のファミリーを上部については、そういった西内の断層を示唆するような構造はないということで、
1:17:30	ちょっと大分前の審査会合資料になるんですけども、まとめ資料のちょっと手前の審査会合資料の方で、スライドを掲載させていただいております、
1:17:41	説明をさせていただいてたところでございます。
1:17:44	以上です。
1:17:46	はい。加えてなんです私が今申し上げた、リニアメントってこの朝比奈平良の近くの確かりニアメントだったと思うんですけども。
1:17:56	その辺は、うん。
1:17:58	フォローアップしていただけてますかねちゃんと。
1:18:08	多分今柏崎さんお答えになってるところで、多分ちょっと違う場所が違うんじゃないかなと思うんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:19	もしそこ、東通のやつフォローアップされてなければもう1回審査会合でコメントしますので、多分もうまとめ介護資料とかこれまでの
1:18:31	敷地周辺の地質構造の資料で、おそらくお出しになっていただいていると思うんですが、そういった資料。
1:18:38	でもって明日、将来将来説明していただきたいと思いますけども。
1:18:44	とりあえず今コメントだけをしておきます。
1:18:47	はい。日本原燃の柏崎です。はい、承知しました朝比奈板井付近LDのリニアメントの麻生です。
1:18:54	ここも以前ご説明しておりますので、その辺資料資料追加すると審査会合の方でちょっとご説明。
1:19:02	差し上げたいと思います。以上です。
1:19:07	はい。よろしくお願ひします。地質の方はちょっと後はそんなにないっすね。
1:19:14	それから
1:19:17	津波の方ですか。地震の方の方はいいですこれで。
1:19:21	津波の方ですかね。
1:19:23	津波の方は、これ多分最後、資料の見せ方だけなんですけど、これ43ページですかね。
1:19:31	43ページ、何ページだろう、結論。
1:19:36	結論なんですけど、
1:19:39	滑りを3倍モデルではなくて既往知見に基づいた評価でもってこのあれですか、敷地前面の海岸線の津波高さとか多分比較されてるんですかねこれ。
1:19:54	41ページ42ページには、
1:19:57	41ページには今回青森県が見直した式ちい全面だから海岸図。
1:20:04	線の最大津波高と、
1:20:06	それから、42ページはこれまで説明してきた、寄付の時に説明してきた。
1:20:12	青森県の津波高、
1:20:16	それで43ページはね、多分これ、ここに何か、敷地前面の、
1:20:22	大口野間入口っていうのかな。
1:20:25	ここでの津波高さを書いた方が、
1:20:29	視覚的にわかりやすいと思うんですが、
1:20:33	そう思わないですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:35	2 衛藤はい。日本原燃の村田でございます。これ、こちらもともと 42 ページ 43 ページで既往の評価において、ちょっと比較をしていたっていうところを今回 41 ページ追加になったところとの、
1:20:53	形でと 41 ページ 4 という、
1:20:56	2 ページ後にちょっと 43 ページがそのままこうし、続けて、最近のままでちょっと出てきているのでちょっとわかりにくくなっているところもあると思うので、ちょっとうちの入口前面とかその辺りの、
1:21:09	津波高とかを、企業のまとめ資料とかでもお示ししてる部分がございますので、ちょっとその辺りを踏まえまして、ちょっと資料の修正追加等を検討したいと思います。うん。多分その方が、
1:21:21	と思いますので 414243 ぐらいしか多分これ、説明としてはないないんですよね多分ね、中身はおそらく。
1:21:30	もう 1 回か、もう一つ確認ですけどこの 43 ページは 3 倍モデルではないですよね滑りは 3 倍モデルではないですよね北方への連動型地震の。
1:21:40	津波高を表してるんですね。
1:21:43	はい。日本原燃の村田でございますこちらすみません 43。
1:21:47	3 ページのところは、企業事件を踏まえた津波の評価の中の、衛藤小口のマップで 4 メートルぐらいのは、私、
1:21:54	そのメートルぐらいのモデルで滑り量 3 倍モデルの結果は、にはなってないです。なってます三瓶モデルは参考資料、後ろの方で、49 ページ 50 ページの方に、
1:22:07	参考としておつけさせていただいてるっていうところになっております。
1:22:11	はい、わかりました。
1:22:18	あと、花山ですけども、ちょっとちょっとわかりにくいところはあったんですけども要するに、
1:22:24	54 ページですかね。
1:22:26	今まで地理的領域内の第 4 紀火山 48 地火山抽出してたんですけど、
1:22:33	右側のように八甲田クロモリと幸田八幡だけが合わさって、
1:22:39	八甲田アーチが八幡だけ火山群としてなったので、
1:22:44	1 個減りましたと。
1:22:46	47 個になりましたというふうな話が一つで。
1:22:49	それでしょう、発電所に影響をおよぼし得る火山としては、
1:22:56	この二つ、二つの火山とか新しくその八幡だけ火山群の年代、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:02	とか活動履歴等を、
1:23:04	産総研のデータベースで調べてみると、
1:23:08	最後の噴火からの経過期間が前活動期間よりも短いので、
1:23:12	施設に影響をおよぼし得る火山になってしまったというそういう理解でいいですかね。
1:23:22	日本原燃の大山でございます。そのような理解で、大丈夫でして統合に伴って年代も少し変更されたので、新たに今日吉岡さんになったということで
1:23:36	わかりました。
1:23:37	これは産総研のデータベースも年毎年、ちょっとずつ変わっていくんでやむを得ない。
1:23:44	話になるんですね、仕方ないですね。
1:23:47	わかりました。
1:23:49	私からは以上です。
1:23:55	他にありますか。
1:24:12	すいません佐野。
1:24:14	前段部分が終わってしまったんですすいませんログアウトしていただいてよかったんですがすいませんご案内を忘れてましたが、
1:24:22	大丈夫です。私はむしろ、特にすいません。はい。もし他にご意見があればですね適宜ログアウトしていただきたいと思いませんのでありがとうございます。
1:24:32	はい。
1:24:33	他に何かありますか。
1:25:49	藤ほかにはなさそうなんですがちょっと資料構成上、ちょっと若干見にくいところ、
1:25:57	申し上げますと、
1:25:59	一番、4ページですね、4ページのところで、今回のフェーズ分が変わって御社の評価長さっていうのが、
1:26:08	書いてありますと、8ページを見ていくとですね。
1:26:12	急にこの51キロという数字が出てきて多分審査で一生懸命やった方々はよくわかるのかもしれないですけど、この資料だけ見ていると、例えば真ん中の図でいくと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:23	神原小断層 5 キロでございます。七戸西方断層 14 キロなんですけれども もとい、何故か連動すると言って右側に行くと 57 になってるんで、 そのあたりちょっとわかりにくいかなと思うんですが。
1:26:34	何か不足とかできますか。
1:26:45	はい。日本原燃の柏崎でございます。はい。ちょっと資料ちょっと
1:26:51	若干修正させていただきたいと思含む範囲ですと、10、連動させても 19 キロということで、一番南までやると
1:27:02	天井が 51 キロというふうな内容になってございますので、6、そこら辺 ちょっとわかりやすいようにしたいと思います。はい。よろしくお願 いします。これ数字の話だけなんでですね見て、足し算しても合わないよ っていう方がいらっしゃるかもしれないんでそこわかるようにしといて いただければ結構
1:27:19	はい、承知しました。
1:27:22	あとは多分特になさそうなのでこれも、何ですかね 20 分ぐらいのご 説明でよろしいですかね。
1:27:32	日本原燃の柏崎です。今日の衛藤説明させていただいて大体 25 分ぐら いでしたので、できれば 25 分をお願いできればなと思っております。 はい、わかりました。
1:27:44	説明時間は両了解しました。
1:27:47	個人的に言うとは、あんまり本件はせつかく新しい知見を取り入れ て説明していただいたものなので、御社の努力は非常に変えたいと思 うものの、結構この分野好きな方がいらっしゃるんですね。
1:28:00	あまり論点にならないように、さらっと説明していただくことが多分、
1:28:05	重要ななと思っておりますので
1:28:08	蛇足ですが一応一言申し上げておきますあんまり一生懸命説明するとい うよりは、
1:28:13	変わらないんだよと同じなんだよとかですね、評価上これまで変更あり ませんよというところを主にやっていただく方が、私はいんじゃない かと思えます。はい。以上です。
1:28:22	すみません日本原燃の柏崎です。承知しました。なるべく 20 分程度で 終わるように説明したいと思います。よろしくお願います。
1:28:31	はい、了解いたしました。本件は、メインディッシュではないと思うの で
1:28:36	サラッと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:37	つまりかないように説明をぜひお願いいたします。
1:28:40	10日にありますか。
1:28:44	ないようなので以上にしたいと思いますが日本原燃から何か確認したい事項とかありますか。こちらからはですねあと審査会合の日程を決め、
1:28:53	たいんですが、
1:28:55	ちょっとまだ予定が決まってないので一番早ければ2月の1週目とかという可能性もあるんですけどもそれでは対応できますでしょうか。
1:29:07	大丈夫。
1:29:08	はい。日本原燃の柏崎です。はい。対応可能でございます。
1:29:13	わかりましたじゃ一応そのつもりで準備を進めていただいて本日の前半のヒアリングで少し修正せんとかね、ありましたんで、資料の修正だけ早めにしていただいた上でですねこちらからは、
1:29:24	ロジ的には連絡をさせていただきますので、よろしくをお願いいたします。
1:29:31	あとは日本原燃から何かありますか。
1:29:35	日本原燃の柏崎です。はいこちらからございません。
1:29:40	すいません佐藤ですけども、今日のヒアリングの確認事項でこれは他の他社もお願いしてるんですけども、確認事項で多分書いていただいて、
1:29:52	お互いに共有し合うってことになっているんで、だけども、皆さん方、市既許可以降、
1:30:00	久しぶりのヒアリングで慣れてないと思うので、
1:30:03	後でですね、エクセルでもワードの、
1:30:07	ファイルでも結構なので、オオイの方に送っていただきたいと思うんですが、
1:30:13	今日の確認事項リスト、よろしいですかね。
1:30:20	日本原燃の柏崎です。今日画面共有できるような準備をしております、もし今日時間よろしければ、
1:30:28	なんですそれが後でお送りすることを、でしたらそれでも構いませんが、
1:30:34	はい、季節イワタですできればメールで送っていただいて、我々もちょっとじっくり見たいのですね、よろしく申し上げます。
1:30:41	はい、承知しました。
1:30:44	他になければ以上にしたいと思いますがよろしいですか。
1:30:48	はい。本日はお疲れ様でしたありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:52	ありがとうございました。ありがとうございました。
---------	--------------------------

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。